

# わが

# 全ての自治体へ向けて 「続ける」ために「変える」

### 自然と歴史に満ちたまち

安芸高田市は、2004年に広島県の旧高田郡6町が合併して誕生しました。中国地方の中央部に位置し、山々に囲まれた土地には瀬戸内海と日本海それぞれにつながる支流が流れており、緑と水が

調和した落ち着いた着きのある景観となっています。

本市は戦国武将「毛利元就」が生涯を過ごした地としての歴史を持ち、元就の居城であった郡山城（郡山）は日本100名城に選定されています。元就が残した「三矢の訓」はサン・フレッツェ・広島の名前の由来となっており、その縁から市内にサンフレッツェ島の練習場やユースの寮を擁しています。また、伝統芸能の神楽が有名で、演劇性と躍動感が特徴の本市の神楽は老若

男女を問わず多くの人を魅了しています。

### 20年後の危機

本市にとって最大の課題は、財政の持続性です。他の多くの自治体と共通する課題ですが、少ない人口（2.7万人）、低い人口密度（50人/㎢）、高い高齢化率（42%）などから、本市の財政はすでに危機的状況となっています。

さらに、今後も人口減少と高齢化は続くため、人口動態による地方交付税の減少と扶助費の増加によって、20年後には財政から38億円の裁量が見込みです。20年で財政を調整していくとしても毎年1.9億円の緊縮が必要となる計算ですが、市の予算規模（200億円程度）を踏まえると相当の負担といえます。

### 危機への対処

加えて、20年後に向けては公共施設や上下水道・道路といったインフラが更新時期を迎えるため、その費用も財政を圧迫する要因となります。更新費用は毎年数十億円に上ると見られ、全てを更新できないのは誰の目にも明らかです。

こうした危機を乗り越えるには、公共施設の削減や市のコンパクト化が必須となります。公共施設等総合管理計画を見直すとともに、都市計画マスタープランに基づいたコンパクトシティの推進に着手しました。公共施設について、市は2015年時点で「総延床面積を20年間で30%以上削減」という目標を掲げていましたが、2020年時点で4%にとどまっております。圧縮を急がなければならぬ事態となっています。

無論、歳出の見直しは欠かせません。予算編成においては、行政サービスの基本となる公共性、公平性、効率性の観点で全ての事



郡山と麓の吉田町



伝統文化の神楽



各町で開催した財政説明会

務・事業を自ら点検し、歳出の抑制に取り組んできました。事務に関しては根本的な在り方から問い直し、開庁時間の短縮なども含んだ効率化を図っています。各種事業においては費用対効果を検証し、優先順位をつ

けた予算の配分に徹しています。その際、事業の廃止は必然です。全体を少しずつ縮小するだけでは、もはや、やりくりができない状態となっています。補助金事業も例外ではなく、個々の存廃から検討しました。また、適切な受益者負担となるようさまざまな料金を見直し、一般会計から上下水道事業に向けた毎年の繰出金(8億円)を削減するため、上下水道料金の引き上げに踏み込みました。

## 未来への突破口

このように守りを固める一方で、攻めの形も整えています。攻めの要となるのは市の特色である

毛利元就、サンフレッチェ広島、神楽です。本年は毛利元就が郡山城に入城して500年の節目に当たるため、市内外の方々が参加できる事業を幾つも企画しています。サンフレッチェ広島については、道の駅で全試合(Jリーグ)のパブリックビューイングを実施するという県内初の取り組みを通して、より一体感が高まる環境を整えました。神楽は市外での公演を増やすべく、公民を問わずあらゆる分野で上演の機会を模索しています。5月には大阪のメルパルクホールで公演を行う予定であり、たくさんの方々に楽しんでいただけると期待しています。



パブリックビューイングでサンフレッチェ広島を応援

## 次世代に可能性を

全ては本市を残すための取り組みです。「続ける」ためには、「変える」しかありません。そして、もろもろの改革に必要なのは、何よりも市民の意識改革です。財政に関しては、市民へ向けた説明会を開催し、広報誌でも内容を報じましたが、その際には「つきりと」「このままでは財政が行き詰まる」

と20年後の危機を伝えました。現実を直視しなければならぬ局面へすでに入っています。様子見や問題の先送りはいずれ許されません。この状況はほとんどの自治体で共通するはずです。だからこそ、本市が変われば、日本も変わると信じています。変化は可能性の源です。私たち世代の責任として、次世代にできる限りの可能性を残したいと思います。

## プロフィール

- ◆ 面積 537.71 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 2万6931人
- ◆ 世帯数 1万3303世帯

〔まちの特徴〕中国山地に位置し瀬戸内海と日本海の分水嶺が存在する、緑が豊かなまち

〔市町村合併〕平成16年3月1日、吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町の6町が合併

〔特産品〕夜叉うどん、ゆず加工製品、



安芸高田市長  
石丸伸二



米・酒米・もち米、ネギ、三矢えびす茶(はぶ草茶)  
〔観光〕神楽公演、毛利氏ゆかりの史跡、サッカー公園(サンフレッチェ広島の練習場)、温泉、キャンプ場  
〔イベント〕高校生の神楽甲子園、花田植え、ツールドあきたかた、サンフレッチェ広島パブリックビューイング、BMX大会、カヌー大会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。